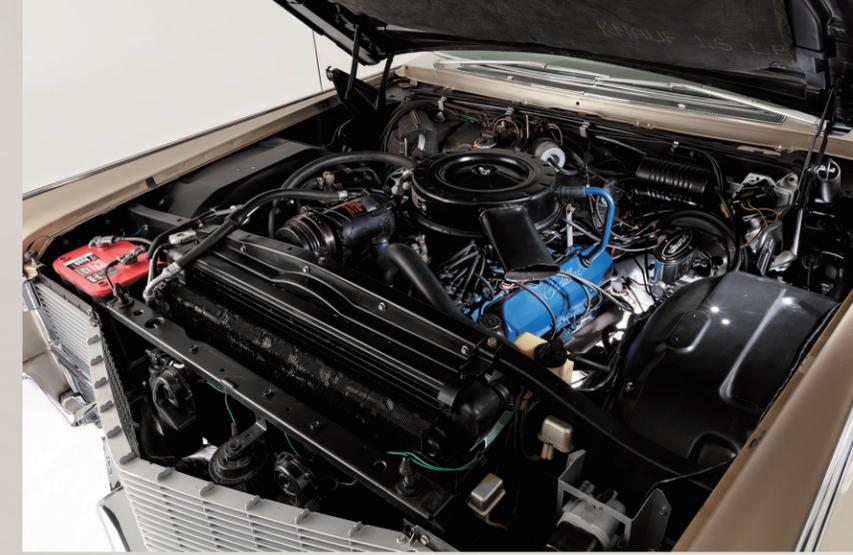




FOREVER CLASSICS

1965 Cadillac Deville Convertible



現地で現車確認をして一番テンションが上がった部分というエンジンベイ。エンジンも含めて過去にリフレッシュされた履歴があったとのことだが、意外にもその仕事のクオリティの高さを感じさせてくれる。バッテリーとブレーキのマスターシリンダー以外は、ほぼストックコンディションを維持。もちろんファクトリーエアコンも問題なく稼働し、429 cu.in. で308馬力のトルクフルなエンジンやその他の機関系も絶好調。国内ではほぼお目にかかれないレベルのグッドコンディションだ。

ホイールは LEXANI FORGED でデザインも含めたスペシャルオーダー品。既存モデルの LS-706 のデザインをベースにして、硬派な Hot Rod にも好まれそうなデザインを起こし、フィニッシュもビレットリムのような表面処理で、昨今のブラッシュドとは趣の異なる特別仕様となっている渾身のアイテム。前後ともにフェンダーとのクリアランスを最小限にするためのオフセットや、ピアスボルトをヒドゥンさせたデザインなど、細かいこだわりを貫いている。サイズは20インチで、前後 8.5J、245/35-20。サスペンションは RIDETECH 製で、ブレーキはすべて WILWOOD にアップデート。フロントキャリパーは 6pot でドリルド 405mm ローター、リアは 4pot でドリルド 355mm ローターをセット。

Dear Gold



トランク内は現在のところ暫定として ACCUAIR の ENDO CVT タンクをレイアウト。コントロールはもちろん E-LEVEL システムを採用。文字通り最新のシステムを搭載している。今後はパイピングも含めたセットアップを予定しているとのことだ。近年の車両とは全く異なるこのトランクスペースもまた、この年代のキャデラックらしい部分でもある。

